

第5章 ミサの中での動作

ここでは子供たちにもっと積極的に動作を伴わせながらミサに目を向けさせてみましょう。

司祭はミサを捧げるために登壇して、ミサが終るまで種々の動作を行います。子供たちはいつもこの動作を見ていますが、まだ意味はわかりません、信者の家庭で御ミサごっこをしている姿を見かけることがあります、両親、先生がこのような機会を提供するために考えてみましょう。

今月は聖変化の前に聖霊を求める祈りの按手（エピクレシス）の動作、聖変化後の奉献の動作についての的を絞ってみることにします。

新しい典礼書はエピクレシスの意味を聖霊を求める（招く）祈りとしてくりかえして説明しています。

キリストのみ旨によって、「これは、私のからだ」、「これは、私の血」というみことばの表現によってなされる聖変化に、聖霊を求める祈りが三世紀ごろから加えられたといわれています。

聖霊の招きの祈りとともに、献物（パンとブドウ酒）の上に両手で按手の動作が伴います。もっと昔にはすべての秘跡にこの按手の動作がみられたようです。

聖霊の招きの祈り「あなたにささげるこの供えものを、聖霊によってとうといものにして下さい」の按手の動作につづいて最後の晩さんのことばがきます。

キリストの最後の晩さんのみことばによる御からだ、聖霊降臨から、キリストの再臨によって完成される神の救いの歴史の完成まで続けられます。このようなキリストの御からだの完成は、聖霊のみわざによって導かれています。

○（1）部 聖霊を求める祈りの按手

○（2）部 奉献の祈りの動作（聖変化後）

年齢… ～初聖体準備

教材● カリスに似たガラスコップ

● バテナに似たガラスの皿

● 紙でつくったホスチア、（大）1枚、（小）数枚

（1）● 按手の時の両手の紙型

（2）● 奉献の時の両手の紙型

○教える要点

聖霊を求める祈りを（第3奉献文）となえながら両手で按手をしてみせます。子供たちはもう知っていますが、準備した教材を使って大きい動作を示します。この動作によって子供たちの心の中に聖霊の特別のみわざの神秘を悟り、理解させるように留意して導きます。

○作業

● 一人の子供が動作、按手する。もう一人の子供が祈り文をとなえる

● ミサの聖霊を求める祈り文を書きとる。

（2）部 奉献の祈りの動作

教材・・・(1)と同じ

神は人類に賜物をお与え下さり、人間は神の賜物に感謝し、神の栄光をたたえ、キリストを通して献物をします。それを祈りのことばと動作によってあらわします。

○教えの要点

先生はテーブルに布を敷き、ガラスのコップ、ガラスの皿に大きいホスチア（紙）小さいホスチア数枚をのせて、天を向いて大きい動作で、献物を上げます。そして折ります。

キリストによって、キリストとともに、キリストのうちに聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、すべての誉れと栄光は世々にいたるまで。アーメン。

動作とことばをはっきりと示します。子供たちはいつも教会で見ているので知っていますが沈黙させて見つめさせます。

司祭の立場でなく、先生の立場で教えるので、子供たちの心と目を十分に引きつけさせるように配慮します。終りにはみんなでかならず、アーメンをとるよう導きます。

子供たちには適度の回数にわたって、①②のように練習させます。

○直接のねらい

神との一致、民との一致

○間接のねらい

主日（日曜日）にミサに参加する自主性をねらう。



① 按手

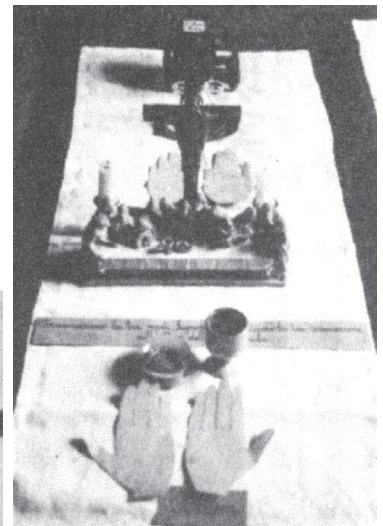


② 奉献

③

按手（手のひら下向き）

奉献（手のひら上向き）



④ 奉献

キリストによって
キリストとともに
キリストのうちに